

新潟県支部総会報告

平成 29 年 9 月 23 日（土）正午より上越市のホテルハイマートにおいて、第 6 回日本大学薬学部校友会新潟県支部総会を開催しました。連休の初日で皆様ご多忙のところ、25 名の会員が出席をして下さいました。

町田 巖会長が体調不良のため宮下 敦が代理で開会の挨拶をし、総会が始まりました。総会は今後の支部運営の在り方（新たな会員の出席がほとんどない現状）などを検討課題とし、3 年後の開催を新潟市で行うことが決まり無事に終了しました。

総会終了後大変お忙しい中、本橋 重康薬学部長及び内倉 和雄薬学部校友会会長お二人のご出席を賜り懇親会を行いました。



本橋学部長より今後の薬学部の在り方・方針また現在の状況等、内倉会長より校友会の現状・在学生の現状などを伺うことができました。在学生の経済的な援助を充実したいので卒業生の協力をお願いしたいなどの話もありました。

私事ではありますが、本橋学部長には卒業研究の時に大変お世話になり、36 年ぶりの再会でした。直江津駅でお会いした時に一目でわかったと言われ大変うれしく思いました。

3 年ぶりにお会いする皆様が自己紹介を兼ね近況を話し合い、また、本橋学部長、内倉会長を囲んでの話などで大変盛り上がりました。あっという間に 2 時間が過ぎ、その後 2 次会をホテル内の居酒屋で過ごしました。本橋学部長、内倉会長にも少しの間ですがお付き合いいただき光栄でした。参加者は 3 年後にまた会うことを胸に解散となりました。

今後 6 年生になってからの卒業生の参加が増え、益々薬学部校友会が発展することを祈念して新潟県薬学部校友会総会の報告とさせていただきます。

（新潟県支部 支部長代理 宮下 敦 記）



二次会：多七